

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一定のプライバシーの確保や一人ひとりにおけるケア等を実施しているが、一部の職員においてケア方法として目線や話し方等に少し気になる部分がある。	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保としてご入居者様へのケアについて再度職員全体で理解を進め、心のこもったケアを実施していく。	介護技術及びケアにおける研修の実施 職員間における笑顔の統一と対応を徹底するように職員に周知徹底を実施していく	3ヶ月
2	40 (15)	○食事を楽しむことのできる支援 一定の対応は出来ているが、検食やご入居者様との一緒に食事を食べる等の対応が出来ていない部分がある。	ご入居者様の食事の時間においても職員がただ見守るだけではなく、一緒に食事を楽しむ状況を作っていく。 今まで以上にイベント食を活用し、より食の楽しさを提供していく。	検食の導入 ご入居者様と一緒に食事を食べる機会を設ける。	1ヶ月
3	8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 権利擁護についてあまり把握していない状況があり、成年後見人制度や必要性やディスカッションやケース検討を実施していない状況がある。	身体拘束・虐待・権利擁護の考えを深く理解させ、状況によりディスカッションやケース検討を実施する。 職員が一丸となって高齢者における権利擁護を理解し、それに伴うサービス提供を実施する。	身体拘束〇の手引きを利用した、身体拘束研修を実施する。 虐待・権利擁護に伴う研修を実施する。 参考事例においてディスカッションを実施する。 実際のケースにおける検討を実施し、権利擁護及び身体拘束〇を進めていく。	6ヶ月
4	35 (13)	○災害対策 防災訓練等の実施をしているがBCPまでの作成が出来ていない部分と、夜間帯における把握の想定対応が出来ていない。	夜間帯における防災訓練を考え、どのような対処をしていくか？ BCPを考え、大災害時においても事業継続ができる仕組みと内容を作っていく。	まちのオアシスにおけるBCPの作成 夜間帯における防災訓練の想定訓練の実施	6ヶ月
5	22	○関係を断ち切らない取組み サービス終了において、ご入居者様・ご家族様における不安やその後の状況の理解が出来ていない状況がある。	サービス終了が発生した際も、終了後の状況やアセスメントの提供、新しい部分におけるご本人様の生活に問題が発生しないようにできるフォローを実施する。	退去時における退去先の理解や情報提供の実施。 ご家族様における不安状況や問題状況の把握。 退去数か月後における状況確認。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。